

6月の都内経済状況







営業開発部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		6月の都内の景気は緩やかに回復しているが、弱い動きも散見される。百貨店・スーパーの売上は前年を下回る動きが続いているが、コンビニエンスストアの売上は増加した。乗用車販売は小幅ながら前年を上回った。住宅着工は5ヵ月連続で増加し、公共投資は2ヵ月ぶりに増加した。輸出は8ヵ月連続で前年を下回った。有効求人倍率は9ヵ月連続で上昇した。工業生産(5月)は3ヵ月ぶりに前月から減少した。28年度の大企業の設備投資は増加見込みだが、28年度上期の法人企業の経常利益は減益見込み。
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は弱い動きも散見されるが、引き続き緩やかな回復が期待される。中国など新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。
個人消費	百貨店売上高 	百貨店売上高は、前年同月比▲4.0%と4ヵ月連続で前年を下回った(既存店ベース)。食料品は小幅ながら増加したが、衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品がいずれも前年を下回った。訪日外国人客の購買などにより化粧品は増勢を維持したが、株価の低迷などを背景に美術・宝飾・貴金属は減少幅が拡大している。
	スーパー売上高 	スーパーの売上高は、前年同月比▲1.1%と2ヵ月連続で前年を下回った(既存店ベース)。節約志向で不要不急の商品を買い控える消費者の動きが影響している。
	コンビニ売上(関東) 	関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比3.3%増と41ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から1.5ポイント拡大した(全店ベース)。
	乗用車登録台数 	乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比0.2%増と小幅ながら2ヵ月ぶりに前年を上回った。車種別では、軽乗用車(同▲27.8%)は18ヵ月連続で前年を下回ったが、普通車(同7.3%増)と小型車(同3.0%増)は3ヵ月連続で前年を上回った。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比0.2%増と5ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は小幅に止まった。利用関係別では、持家(同▲5.7%)、分譲マンション(同▲20.3%)が減少し、分譲一戸建て(同1.5%増)、貸家(同19.7%増)が増加した。
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比27.4%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。発注者別では、国(同▲54.3%)は減少したが、独立行政法人(同95.2%増)、東京都(同29.0%増)、市区町村(同25.0%増)、地方公社(同11.2%増)がいずれも増加した。
貿易(東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比▲3.7%と8ヵ月連続で前年を下回ったが、下落幅は前月から7.7ポイント縮小した。主要地域別では、EU向け(同6.6%増)は増加したが、アメリカ向け(同▲0.3%)、中国向け(同▲5.6%)、アジアNIEs向け(同▲6.6%)、ASEAN向け(同▲4.5%)がいずれも減少した。
設備投資(資本金1億円以上の法人企業)		日本政策投資銀行「首都圏設備投資計画調査(28年6月調査)」によると、都内の法人企業(資本金1億円以上)の28年度の設備投資計画額は、全産業が前年同期比14.2%増、製造業が同25.6%増、非製造業が同12.5%増と、いずれも増加見込みとなっている。
企業収益(法人企業)		東京財務事務所「法人企業景気予測調査(4~6月期調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)の28年度上期の経常損益は、全産業が前年同期比▲12.0%、製造業が同▲27.3%、非製造業が同▲3.1%と、いずれも減益見込みとなっている。
労働需給		有効求人倍率(季調値)は2.05倍と、前月から0.2ポイント上昇した。有効求人倍率の上昇は9ヵ月連続。先行指標とされる新規求人数は前年同月比5.7%増と11ヵ月連続で前年を上回った。南関東の完全失業率は3.2%で、前月から0.1ポイント改善した。
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比▲26.9%と2ヵ月ぶりに前年を下回り、負債総額も同▲59.9%と2ヵ月ぶりに減少した。1~6月累計の倒産件数を業種別にみると、全体が前年同期比▲4.8%で、小売業(同33.8%増)などが増加し、サービス業(同▲14.4%)、建設業(同▲10.5%)、製造業(同▲32.4%)などが減少した。
資金需要(銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比2.5%増と58ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から0.9ポイント縮小した。増加幅の縮小は2ヵ月連続。

工業生産指数(季調値) ()は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比%	消費者物価指数 ()は前年同月比%	(一〇メモ) 都内企業2016年夏のボーナス 東京都が集計した都内民間588労組の2016年夏のボーナスの平均妥結額は760,762円、平均賃金(321,851円、39.2歳)の2.36ヵ月分で、同一労組の前年比較で12,701円、1.70%増加した。伸び率が最も高かった業種はその他運輸(同28.36%)、低かったのは鉄鋼業(▲11.68%)。
3月 93.4 (▲5.1)	3月 120.7 (6.8)	4月 102.0 (▲0.4)	
4月 94.7 (▲7.4)	4月 110.0 (0.8)	5月 102.0 (▲0.5)	
5月 94.1 (▲2.4)	5月 109.1 (▲1.9)	6月 101.7 (▲0.5)	

*工業生産指数・在庫指数、消費者物価指数は2010年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨